

## 町の文化・歴史に触れる なんでもチャレンジ隊 「夏休み体験講座」

8月2日、なんでもチャレンジ隊の「夏休み体験講座」が行われ、チャレンジ隊の児童14名が参加しました。

前半は、ブナセンター企画展「只見の養蚕」を見学し、指導員の松崎さんから只見町の養蚕の歴史の説明を受けました。後半は、田子倉湖で只見棧橋会の方々のモーターボートに乗り、湖の奥まで探検し自然豊かな風景や広さを身体中で体感していました。

参加した児童は、「生きている蚕にびっくりした。モーターボートでの探検も楽しくて夏休みの思い出になりました」と話してくれました。



▲指導員の解説を聞くなんでもチャレンジ隊



▲田子倉探検を楽しむチャレンジ隊①



▲田子倉探検を楽しむチャレンジ隊②

## 地元高校の魅力化を目指して 只見高校生「英会話教室」



▲身振りを交えながらの英会話教室

8月3日から7日まで、只見高校生を対象に「英会話教室」が開かれました。小中学校のALTであるショーン先生を講師に、身振りや手振りを交えながら明るい英会話教室となりました。

今回の英会話教室は、英語検定の二次試験対策として行われましたが、只見高校の生徒が、世界規模の視野を持ち、地域で活躍するグローバルな人材となることを目指し、2学期始業後も開催されるとのことです。

## 町民への感謝を込めて 昭和漫画館青虫「町民感謝デー」開催

8月7日、8日に、昭和漫画館青虫で町民感謝デーとして、只見町民限定の無料開館が行われました。

故高野行央さんの妻・慶子さんが、行央さんが生前お世話になった町民の方にぜひ見ていただきたいとの思いから開館されました。同館は、行央さんが平成18年に開設した私設の漫画館で、戦後の貸本漫画約2万冊が閲覧することができます。

訪れた方は、読んだことのある漫画を見つけると懐かしそうに手に取り読んでいました。子ども達は、だるま落としなどの昔のおもちゃを楽しんでいました。

今後の開館日や入館料については、昭和漫画館青虫のフェイスブックをご覧ください。



▲昔のおもちゃに興味津々な子ども

## 只見中学生と作る 「新聞レジ袋の作り方教室」が行われました。



▲作り方を説明する只見中学生

8月8日から10日まで、只見中学校の生徒を講師に「新聞レジ袋の作り方教室」が開かれました。

この教室は、生徒が海洋教育の取組を町民にも広めたいと只見町教育委員会と企画したもので、3日間で110人が参加しました。

講師を務めた只見中1年の増田司さんは、「環境問題について多くの方が考えてくれるようになってほしい。今後も取り組みを続けていきたい」と話してくれました。参加者の方は「楽しく作れました。自宅でも作成して、少しでもゴミを減らしたいと思います」と話してくれました。

## 河井継之助をしのいで 河井継之助墓前祭

8月16日、塩沢の医王寺で「河井継之助墓前祭」(主催:同実行委員会)が開催され、河井継之助の命日をしのびました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地元参列者を中心に小規模で執り行われました。

読経後、菅家町長が「河井継之助総督の立ち上がる勇気を後世に伝えていくのは、意義が深いもの。今の只見町の子どもも生き方を捉え文武に励んでいる。越後と会津の今後の発展を見守ってほしい。」と追悼の言葉を述べられました。



▲追悼の言葉を述べる菅家町長